

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	細胞の可塑性とロバストネスの状態論
研究代表者	金子 邦彦（東京大学・大学院総合文化研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、細胞の環境変化に対する適応と進化に対して、物理学的現象論の手法の類推から、少数のパラメータを用いて熱力学的に記述し、説明しようとする計画である。このようなアプローチを用いて生命に関する意味あるパラメータを抽出できるかについては自明ではない。しかし、実験的研究から理論的モデルへのフィードバックを通じて、生命現象に対する新しい知見がもたらされることが期待できる。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>